



ベトナムの汚職・不正撲滅強化への取り組み

北陸銀行 ホーチミン駐在員事務所
所長

山田 太一



ベトナム国会議事堂（ハノイ）

1 はじめに

2023年1月、テト（ベトナムの旧正月）休暇前のベトナムで大きな出来事がありました。グエン・スアン・フック国家主席（共産党序列2位）辞任のニュースです。フック氏は2016年から2021年まで首相を務めた後、国家主席に任命されました（任期5年）。地元紙は、新型コロナウイルス流行時に起きた汚職事件で複数の側近党員が逮捕された責任を問われて共産党から事実上更迭された、と伝えています。ベトナムでは国家主席が任期途中で交代するのは異例のことで、フック氏は国家主席の地位のみならず共産党最高指導部の政治局員も退き、このまま政界を引退するとみられています。

2022年には共産党員539人が汚職で処分を受けました。最高指導者のグエン・フー・チョン共産党書記長は、一連の汚職事件の摘発を主導し、国内の汚職・不正撲滅を進めることによって権力基盤を強化しています。汚職に対する国民の不満は根強く、汚職・不正撲滅強化に力を注ぐチョン書記長への国民の支持が広がっています。



2 政府高官が絡んだ大規模な汚職事件

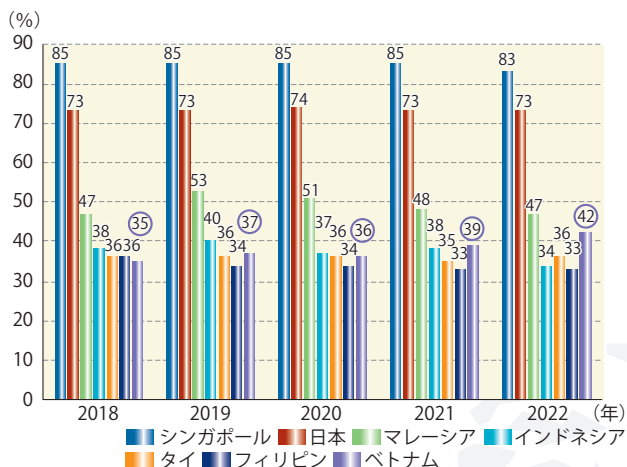
2022年、ベトナム国内では新型コロナウイルス感染拡大時に起こった2つの汚職事件が連日大きな話題になりました。

1つ目はパンデミック時に実施した送還便（海外に取り残されたベトナム国民を帰国させるための政府チャーター便）に絡む贈収賄事件です。パンデミック時、ベトナム政府は世界60以上の国と地域に約800便（20万人以上収容）の送還便を手配しました。その際、帰国を希望する多くのベトナム人が不当に高額な航空券の購入を余儀なくされたほか、複雑な帰国手続きを強制されました。優先搭乗させた乗客から賄賂を受け取っていたとするこの事件では、外務次官や駐日大使経験者、旅行業界関係者ら約40名が逮捕され、2023年1月、外交全般を統括するファム・ビン・ミン筆頭副首相が汚職事件の監督責任を問われて解任されました。

2つ目はViet A Technology Corporationが関与したCovid-19検査キットの政府入札に絡む贈収賄事件です。同社が検査キットの価格を意図的に上げ、不当に得た金銭の一部を特定の人物に賄賂として還元していたこの事件では、前保健相、元ハノイ市長を含む約100人の関係者が逮捕され、2023年1月、保健部門を担当するブー・ドク・ダム副首相が監督責任を問われて解任されました。

ベトナム公安省は、2022年1月から9月に摘発した汚職事件の数を523件（前年比41.0%増）と発表、同省は2022年を総括して「（ベトナムは）汚職や経済犯罪、密輸などの摘発が依然として多い状況にある」とコメントしています。

図1 腐敗認識指数の推移



出所：トランスパレンシー・インターナショナルHP
 ※世界各地の公務員と政治家がどの程度汚職していると認識できるか、その度合を国際比較したもの。点数が高いほど透明度が高い。

ベトナム政府は国内の汚職・不正撲滅を喫緊の課題と位置付けており、取り締まりを強化しています。こうしたベトナム政府の取り組みもあり、国別の腐敗度を示す「腐敗認識指数」は、先進国に比べるとまだまだ低いながらも徐々に改善をみせています。

3 大手民間企業の不正事件

2022年3月、バンブー航空などを傘下にもつ不動産開発大手FLCグループのチン・バン・クエット会長とフオン・チャン・キエウ・ズン副会長らが株価操縦の疑いで逮捕されました。容疑者らは20以上の証券取引口座を使って株価を操作（吊り上げ）、不正に利益を得ていたと伝えられています。経営トップが逮捕された後、経営陣は刷新されましたが、北中部タインホア省で計画していた工場団地建設計画（総工費約128億円）の認可取消、2022年9月株式取引停止処分、10月ハノイ本社ビル売却と大きなダメージを負いました。

2022年10月には、同じく不動産開発大手バン・ティン・ファット・グループ（VTP）のチュオン・ミー・ラン会長や関連会社社長を含む4人が逮捕されました。2018年から2019年の社債発行手続きに関して関係当局から違法と判断されたためです。この事件では同社と関係が深いと噂されたサイゴン商業銀行（SCB）の信用不安が一気に広がり、SCBの店舗には連日預金を引き出そうとする顧客が詰めかける事態になりました。ベトナム国家銀行はSCBを特別管理下に置く異例の措

置を行い混乱の事態を收拾しています。

こうした大手民間企業に対する不正に関し、ベトナム政府は「市民の信頼を損なう不正行為は決して容認せず、今後とも厳格な対応を続ける」とコメントしています。

4 外国人観光客に関するトラブル対応強化

ベトナムへの渡航者が増加するなか、外国人観光客を狙った詐欺事件も増加しています。最も多いトラブルはタクシー詐欺です。料金メーターを細工し、通常よりも早い速度で課金を行い高額な乗車料金を請求する手口です。これまではタクシー詐欺に遭遇しても解決しない事案が大半でしたが、最近では被害を届け出て解決する事案も耳にするようになってきました。

2022年12月、ハノイのノイバイ空港で日本人家族に対して1kmの乗車で100万ドン（約6000円）を請求したタクシー運転手が警察から処分を受けました。このケースでは被害を受けた日本人家族が空港のセキュリティセンターに事件を報告し、警察が監視カメラの映像で運転手を特定しています。

2023年1月には、ノイバイ空港の出入国審査カウンター職員がシンガポール人観光客に対し出国させる見返りにチップ50万ドン（約3000円）を要求する事件が発生しました。シンガポール人観光客が大使館に被害の状況を届け出るとともに、自身のSNSに「当該職員と『TIP』と記された航空券の写真」を投稿したところ、瞬く間に情報が拡散されました。その後、警察は職員を特定し厳正な処分を行っています。

5 おわりに

2022年は、ベトナム国内で多数の「汚職・不正」が発生・摘発されましたが、前述の通り、これらの事件は徐々に減少していくものと期待されています。

2023年は日越外交関係樹立50周年の年に当たります。現在の日越関係は史上もっとも良好な関係にあると言われており、日越両国でさまざまな50周年記念イベントが企画されています。2023年が両国にとって「次の50年」への明るい未来を展望する年になることを祈念しております。